

スリランカ・ジェム・フェスタ東京 2017

開催 ご挨拶 及び 説明

平成 29 年 3 月 15 日 水曜日

一般社団法人 日本宝石協会

理事長 伊藤 彰

本日はプレス各社の皆様には、お忙しいなか足をお運びいただきまして真にありがとうございます。昨年 10 月に第 1 回のスリランカ・ジェム・フェスタ東京を開催いたしました。本年 7 月 25 日（火）26 日（水）27 日（木）を会期とし第 2 回スリランカ・ジェム・フェスタ東京を開催する運びとなり、その詳細を発表させていただきます。

我が国の宝石産業は、第 2 次世界大戦後の国を挙げての経済復興が進むなか、宝石の輸入自由化、物品税の廃止と消費税の導入を経て右肩上がり拡大し、1991 年を頂点とする日本経済の絶頂期を挟み 1998 年頃までは世界中から最高品質の宝石が日本に持ち込まれ消費されていました。しかしながら、今世紀に入り 2000 年の米国 IT バブル、2008 年のリーマンショック、2010 年に GDP 世界 2 位となった中国経済の台頭を契機に、日本国内から高品質な宝石の流出が始まり、宝石原産国を始めとする海外業者の来日販売も激減し、良質宝石の日本での流通量が著しく低下している状態が続いています。

また、隆盛を誇っていた中国経済も 2015 年 6 月中旬をピークとし、上海株式市場の暴落に伴いバブル経済が崩壊し、その余波が世界中に拡散している現状は皆さまの認識される所です。こと宝石・宝飾品に関しても中国市場崩壊の影響は大きく、中国と特別に経済交流の深いスリランカにおいても例外でなく、産出される種々の宝石の仕向け先探し急務となっています。

このような現状の中、スリランカの宝石産業を総合的に司る唯一の政府機関、スリランカ政府宝石局様が、スリランカ宝石産業の健全な育成と販売促進を目的として、世界各地でスリランカ 1 国の業者による宝石展示会を開催したいとの意向を持たれ、世界に先駆け最初に指定された日本にて開催されたのがスリランカ・ジェム・フェスタ東京です。開催にあたり、日本宝石協会はスリランカ政府宝石局様より日本における主催者としてご指名いただき、駐日スリランカ大使館様のご協力をいただき、実行運営しますことは昨年同様でございます。

国土の4分の3が高品質な宝石原石を含む鉱床に恵まれ、2千年以上に亘り世界中に宝石を供給してきた有数の原産国であるスリランカより20社に及ぶ宝石業者の参加を見込んでおりますが、日本で人気の高いパパラチャ・サファイヤを始め、ブルー・サファイヤ、スター・サファイヤ、クリソベリル・キャッツアイなど、スリランカならではの光り輝く高品質な宝石の数々をご覧いただけたらと思っております。

一般社団法人 日本宝石協会は、宝石の正しい知識と情報を社会に広く提供することにより宝石の素晴らしさを発信し、同時に宝石のより良い流通環境を創造し、宝石の信頼性を向上させることを目的として活動しておりますことは、皆様ご存知の事と思っておりますが、本年の展示会では、今後の輸入販売促進の手助けになるよう、出展業者の出品商品から日本で根強い人気があり売れ筋商材であるパパラチャ・サファイヤ、ブルー・サファイヤ等を題材とし、その色の範囲と呼称・処理の有無・価格等を比較・観察できる体験学習の場としての勉強会を会場内にて開催する予定です。まさに、スリランカ宝石局様・スリランカ宝石宝飾品協会様・日本宝石協会の協力体制無くしては出来ない機会と考えます。

展示会場は昨年と同じく、東上野のジュエラーズタウン・オーラム地下1階を東京税関様より保税上屋に指定していただき、輸出入にかかわる消費税の支払・還付手続き等の煩雑さ、資金負担等を鑑みた措置をとり、保税商品・ATAカルネ商品としてご覧いただきます。輸入経験のない業者様にも、少額でもご購入いただけるような代理輸入サポート等考えておりますので本展示会をご活用いただきたく思っております。より多くの業者様に本展示会開催を告知出来るよう努めたく、本日お越しのプレスの皆様方のご協力をいただきたく存じます。